

# 自然教育園見ごろ情報

2026年2月19日号

附属自然教育園

検索

詳しくはHPの「見ごろ情報」  
をご覧ください  
<https://ins.kahaku.go.jp/>



今週はここに注目！

モクレイシが咲いています



約2cm

武蔵野植物園と  
路傍植物園で  
見られます

セツブンソウ。

「節分の頃咲く」ことが名前の由来。山地の樹林に生えます。園芸目的の乱獲で激減し、環境省のレッドリストでは、「準絶滅危惧種」に指定されています。



ヤブツバキ

寒い冬に花を咲かせます。メジロやハナアブなどが花を訪れ、花粉を運びます。花は丸ごと散ります。



地面に散った花



ノシラン(実)

コバルトブルーの綺麗な実をつけています。ノシランの名前は、花茎（花だけつける茎）が平らで熨斗（のし）に似ていることからついたと言われています。



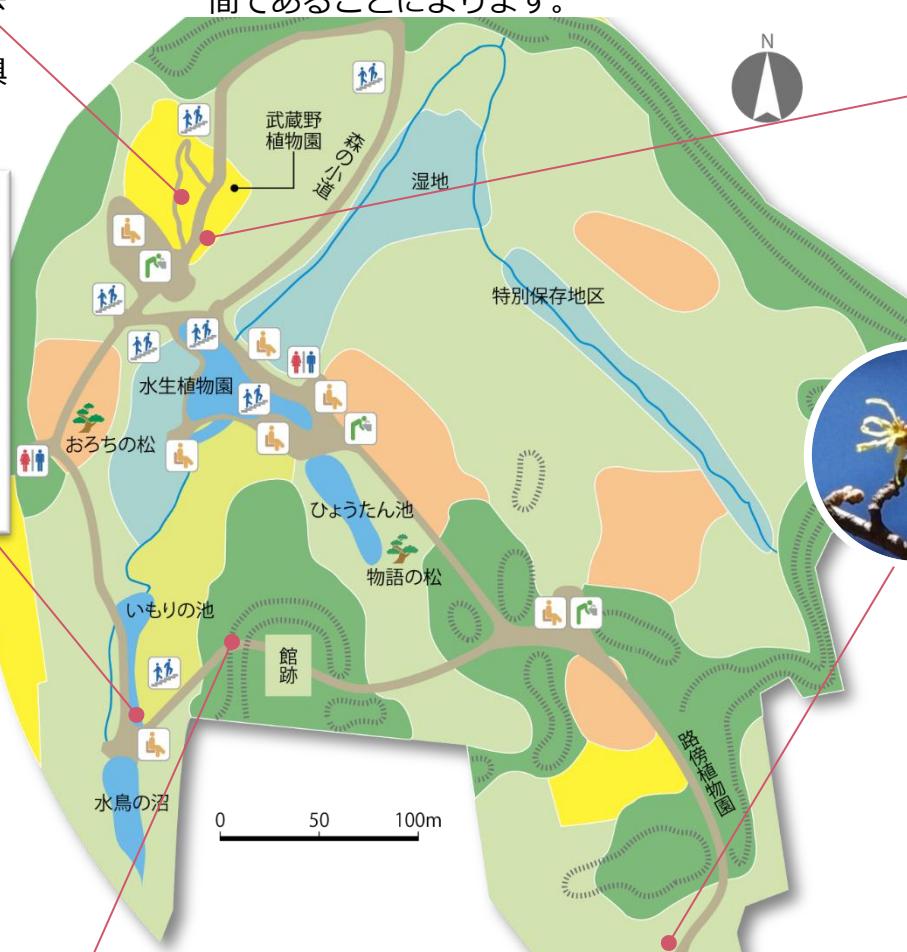
ユキワリイチゲ

淡紫色の花が咲いています。葉は、野菜のミツバ（セリ科）によく似ています。名前の「一華（いちげ）」はイチリンソウ（別名イチゲソウ）の仲間であることによります。



フクジュソウ

福寿草（ふくじゅそう）の名前は、旧暦の正月ごろに咲くため、新年を祝うめでたい花としてつけられました。春にだけ地上に顔を出す春植物のひとつで、地上部はやがて枯れてしまいます。



フキ(花)

花が咲いています。ふきのとうは、フキの「花がつく茎（花茎）」にあたり、山菜としてもおなじみ。葉はつくだ煮などのほか、咳止めなどの民間薬としても利用されています。



★園内での動植物の採集は禁止です。大切に見守ってください。



モクレイシ(雄花)

いい香りがします



緑白色の小さな花をたくさん咲かせていました。モクレイシは、ツルレイシ（ニガウリ）に対して付けられた名前。果実が割れ赤いタネを出す様子が、ニガウリが熟したタネを出す様子と似ているためです。雌雄異株です。

天然記念物及び史跡

科博 自然教育園